

宮城県
第三高等
女学校
宮城県
第三女子
高等学校
宮城県
仙台三桜
高等学校



第58号

同窓会事務局
宮城県仙台三桜
高等学校
仙台市太白区門前町9の2
〒982-0845
電話022(248)0158(代)

新入会員です
よろしくお願ひします!



7月2日 母校で会いましょう!

令和5年度同窓会総会のご案内

日時 令和5年7月2日(日) 午前10時30分より
会場 仙台三桜高等学校
会費 1,000円

アトラクション

メゾソプラノ独唱 伊藤 郁子さん(高校29回) ピアノ伴奏 渡部 直美さん(高校29回)

申込み 令和5年6月22日(木) 同封の青色の振込用紙でお願いします。

○駐車場はありませんので、学生時代と同じように公共の交通機関でおいでください。

○当番幹事は高校26回生・43回生・61回生・74回生・75回生のみなさんです。

テーブルを囲んでの懇談は行いません。
同窓会名入りの1000円のクオカードと
お菓子・お茶を準備しますので、
お楽しみに!
校舎・生徒会館の見学もできます



伊藤郁子さんプロフィール

1984年～2004年まで仙台オペラ協会に在籍し「蝶々夫人」「カルメン」等多数出演。2004年に仙台フィルハーモニー管弦楽団による初リサイタルを開催。現在もリサイタルや各種コンサートに出演。ミューズの夢会員。



よろしくおねがひします

小松 大祐 (高校75回)

本日、私は、伝統ある宮城県第三女子高等学校・仙台三桜高等学校の同窓会に入会することができ、大変嬉しく思います。一言では言い表すことができませんが、私たちは新型コロナウイルスの影響により、高校生活最大行事の修学旅行をはじめとするさまざまな行事、及びマスクのない日常生活を送ることは叶いませんでした。しかし、叶わなかったことだけを見るのではなく、私たちにしかできなかったこと、そして三桜生として過ごしたこの三年間を胸に、それぞれの道へ進んだ先でも後輩達をサポートしたいと思ひます。今後、宮城県第三女子高等学校から始まるこの伝統ある学校の同窓会の名に恥じることのないよう、社会のため、人のために行動し、活躍できる人材となるようお約束し、第75回生の挨拶とさせていただきます。先輩方、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

総会報告

令和4年度同窓会総会は、コロナ感染が拡大する中ではありましたが、令和4年7月3日(日) 十時三十分より、母校宮城県仙台三桜高等学校三階の合同講義室で開催されました。当日は快晴で、大坪泰久校長先生をはじめ現教職員・恩師の先生方のご列席をいただき、同窓生あわせて九十名が参加いたしました。

総会は今春卒業したばかりの高校七十四回生丹野広夢さん・佐々木理央さんの司会で開会しました。協議は議長長の七十三回生遠藤匡さんの議事進行により、令和3年度会務・決算報告、監査報告、令和4年度会務計画・予算案が満場の拍手で承認されました。

今年度の総会は、コロナ禍のためアトラクションやテーブルを囲んでの懇談はできませんでしたが、恩師の三女高時代、三桜高時代のお話を伺っ



て、その頃の情景が浮かび上がり、懐かしさが込みあげてきました。マスク越しではありましたが、如春会歌、校歌を歌うことができ、ひと時高校生の自分にもどり、部活動や友人との語りなど、たくさんの方が思い出されました。先生方、同窓生の三女・三桜愛に溢れたとても温かい総会でした。令和5年度の総会は七月二日(日)です。校舎や三桜会館(生徒会館)の見学もかねて、ぜひいらしてください。

「感謝」

丹野 広夢 (高校74回)

私は今回、同窓会総会に参加し、司会を務めさせていただきました。準備段階から当日まで、先輩方からの沢山のサポートをいただき、無事務めあげることが

ができ、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

総会を通して、改めて三桜高校の素晴らしさや三女からの歴史ある伝統を心から感じる事ができました。また、卒業生である先輩方や先生方との交流を通して、三女・三桜の良さも肌で感じました。卒業生はもちろん、地域の方々や多くの方々から長く愛される三桜の卒業生であることを大変うれしく思います。今後も三桜の卒業生であることの責任と誇りをもってこれからの日々を生活していきたいと強く感じました。

三女・三桜では勉学、部活動、学校行事、全てにおいて全員が一生懸命になり、友人と互いに力を合わせながら取り組むことが最大の魅力だと感じています。三桜で過ごした三年間を忘れず、母校を愛し続け、社会に貢献できる人になりたいと思います。

◆総会次第

1. 開会の辞
2. 物故会員を悼み黙祷
3. 会長挨拶
4. 校長挨拶
5. 来賓紹介
6. 協議 ー議長選出ー
 - (1)令和3年度会務・決算報告ならびに監査報告
 - (2)令和4年度会務計画・予算案
 - (3)その他
7. 令和5年度当番幹事委嘱
当番幹事：高校26回生、高校43回生、
高校61回生、高校74回生、
高校75回生
8. お知らせ・お願い
9. 如春会歌・校歌
10. 閉会の辞



令和4年度同窓会予算

収入の部

科目	本年度予算額
1 会費	2,001,600
2 入会金	136,000
3 寄付金	272,000
4 繰越金	594,174
5 年会費	1,300,000
6 雑収入	10
合計	4,303,784

支出の部

科目	本年度予算額
1 総会費	200,000
2 会議費	20,000
3 庶務費	300,000
4 事業費	2,980,000
5 基金積立	500,000
6 予備費	303,784
合計	4,303,784



これからの同窓会を考える

会長 五十嵐さとみ



同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染症の流行から早くも三年が過ぎました。例年のない猛暑日や十年に一度という大寒波の襲来などの影響を受けられた方もいらっしゃるかと思います。

今年度は七年ぶりに「同窓会名簿」を発行いたしました。個人情報保護法が制定されたことにより、近年名簿作成も大変難しくなっておりました。このような状況下ではありますが、皆様のご理解とご協力により、名簿が発行できたことを大変嬉しく思っております。

また、コロナ禍ではありましたが、同窓会行事として、同窓会総会・入会式を行いました。

総会は母校のご好意により、三桜高校の講義室で開催することができました。アトラクションなどはできませんでしたが、新卒生も多く参加し、年代を越えてお話しすることができ、ほのぼのとした総会となりました。同窓生の皆様とお会いしてお元気なお顔を拝見でき、直接会うことの喜びと大切さを

感じました。

入会式は、少人数ではありませんでしたが、同窓会役員が参加し、卒業生に直接歓迎の言葉を伝えることができ、嬉しく思いました。そろそろコロナ禍での行動制限も緩和され、各支部の皆様とお会いできる日も近いのではないかと思っております。皆様のご意見をうかがいながら、今後の同窓会活動について検討していきたいと考えております。

学校では三年ぶりに校内合唱コンクールや体育大会が開催されたとうかがい、日常が戻りつつあると安堵しております。さらに部活動もワンダーフォーゲル・ボクシングがインターハイ、放送部が全国高校コンテストのアナウンス部門に出場したほか、東北大会に駒を進めた部活も多く、在校生の素晴らしい活躍に感動いたしました。

今年度は、同窓会から在校生への支援として「展示用パネル」を寄贈しましたので、ご報告させていただきます。

令和五年度の総会は七月二日に行います。今年も母校で開催する予定です。ぜひご参加ください。お待ちしております。

コロナ禍の状況が一日も早くおさまり平穏な日々が取り戻せるよう心から願うとともに、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

ご挨拶

校長 大坪 泰久



同窓生の皆様方には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただいております。心から感謝申し上げます。

昨年引き続き、同窓会総会を本校で開催することができました。総会後には、多くの同窓生の皆様に図書館にお寄りいただき、昨年寄贈していただいた図書を実際にご覧いただくことも、とても嬉しく思っております。また、令和四年度は展示用パネルを寄贈していただきました。本校で実施している地域連携型探求学習をはじめとした、学習活動の発表等に使わせていただきます。こうして、毎年、生徒たちの環境が整っていただくことも、ひとえに皆様方のご支援の賜と、改めて御礼申し上げます。

さて、今年度の本校の状況ですが、コロナ禍も三年目となり、その時々での感染状況を確認しながら、教職員、生徒たち

による様々な創意工夫のもと、多くのことができるようになってきています。七月には三年ぶりに合唱コンクールを実施しました。コロナ禍になり、在校生は校歌を歌う機会がほとんどありませんでした。合唱コンクールにおいて、歌い継がれてきた美しいハーモニーを響かせる本校の校歌を、思い切り歌えたことは、三桜生としての誇りを醸成する上でも大きな意味をもつと思っております。部活動でも、生徒たちは素晴らしい活躍を見せ、運動部では、ワンダーフォーゲル部がインターハイ(登山)出場、文化部では、放送、書道部が、全国高等学校総合文化祭への出場権を獲得しました。

本校は、令和六年度に創立百周年を迎えます。今年度は、同窓会名簿が発刊されました。また、九月九日には、創立百周年記念事業合同実行委員会が立ち上がりました。今後、実行委員会を重なる中で、記念式典、記念誌、記念事業等について具体化されていきますが、本校の未来に繋がる記念事業となるように、同窓生の皆様と一緒に事業を進めていきたいと思っております。

結びになりますが、同窓生の皆様には、今後とも温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

総会に参加して

卒業したばかりなのに、学校がとても懐かしく、先生方や友達と話せてうれしかった。来年はもっと多くの方に参加していただけるよう声がけを行い、更に活気ある総会にしたい。

新校舎に入るのは初めてです。広々とできてきれいで驚いています。生徒会館も立派！以前の同窓会会館で合宿したことを思い出していますが、夜中にゴキブリが出て大騒ぎしたことも懐かしい。一階に食堂があり、ラーメンやかつ丼がおいしかった。

OGの方々が総会をとても楽しみにされているのだと感じました。実際久しぶりに会ったお友達と楽しそうにお話されているのが印象的でした。

総会終了後に総会会場とは別に、参加した方達がお話できるスペースを作ったり、記念撮影用のスポットがあったりしても楽しいと思いました。毎年総会に参加するのを楽しみにしている。昔と同じように長町駅から歩いてみた。町並みが変わっていて新鮮な感じだった。



宮城県第三高等女学校誕生

大正十三年四月五日、宮城県第三高等女学校第一期生の入学式が行われました。中島丁の宮城県女子師範学校内に併設され、初代校長は女子師範の佐伯千尋校長が兼任、教職員も師範の半数が兼務したようで、名実ともに女子師範の姉妹校としての出発でした。



思い出の母校（中島丁校舎校門）

三高女独自の校旗、校歌、校章はなく、教育方針や学校行事、如春会（校友会）活動なども師範と一緒にしました。今も同窓会総会で歌われる「如春会歌」が校歌のように歌われていました。

宮城県第三女子高等学校誕生

昭和二十二年三月に教育基本法、学校教育法が公布され、六・三・三の民主教育制度が基礎づけられました。翌年の昭和二十三年一月に高等学校設置基準が公布され、四月一日に宮城県第三女子高等学校が誕生しました。昭和二十八年七月、戦災のため校地校舎を失った一女高が中島丁校舎へ移転、三女一女同居時代が始まりました。文化祭や運動会など合同で行事が行われました。

昭和三十三年四月十日、中島丁校舎での最後の始業式と入学式が行われ、四月十三日、中島丁校舎との離別式のあと、現在の門前の校舎に全生徒が到着、校庭で入学式が行われ、門前の地で新たな一歩が始まりました。

三女高の校旗・校章は、女子師範当時のものを共用してきましたが、校地移転の際検討され、校章はそのまま受け継がれることになりました。また創立以来歌われてきた女子師範の生徒会歌「如春会歌」は新校地への移転をきっかけに新しく校歌を制定することになり、昭和三十三年十一月十一日に現在歌われている校歌の発表会が行われました。

母校は令和6年に創立100周年を迎えます

昭3卒高女1回 戸田 清子

私は大正13年4月5日 第三高等女学校創立一回生として入学しました。テレビもラジオもない時代で元禄袖の着物に海老茶の袴をはいた幼い自分を今なつかしく思い出します。

わずか50名だけの女学校でしたが中島丁の校舎も先生方もまた学校行事も校友会活動もすべて女子師範と一緒に、毎週毎月のように校外指導や研究発表会があり、外人の英会話の授業、野蒜の臨海学校等々、当時の女学校としては大変進んだ教育を受けました。制服が洋服になったのも県では最初でした。運動も盛んで庭球排球籠球等日の暮れるまで汗を流しテニスで優勝したのも嬉しい事でした。こうした自由で楽しいそして充実した女学校時代は私の生涯で最も倅せな思い出として心に残り消えないでしょう。

(80年のあゆみより・戸田清子さんは初代同窓会会長です)

大正13年に制定された
チューニックスタイルの夏服



袴と袖にビロードのついた冬服



校歌発表会



♪あおぐも とお〜き みやぎのを〜♪

恩 師 か ら の メ ッ セ ー ジ

私の前任の太田直之先生が三桜高校になって弓道部を立ち上げ、部員50人越えの大所帯となりました。それなのに弓道場が無く、巻き藁だけで日々の練習を行っていることに驚いたものです。月に数回は宮城県弓道場を利用的に向かつて矢を射ることはできていましたが、それでも他校よりも的に向かつて矢を射る数は圧倒的に少なく、弓道場があれば…とよく願ったものです。顧問になって二年目の夏、先生方のご協力を頂いて、調理室脇の駐輪場スペースに仮設安土を設置し、初めて校地内での向かって矢を射ることができるようになりました。屋根もない外での練習のため、天候に左右されましたが、校地内で矢を射ることができるよう嬉しさは大きいものです。その甲斐もあり、令和三年度には国体選手に選ばれ活躍したり、令和四年度には東北選手権大会で活躍したりする生徒も出るなど、部員たちの活躍は素晴らしいものでした。どんな逆境でも一生懸命取り組める三桜生。今後も弓道部をはじめ、在校生たちの活躍を応援しています。



三桜高校での思い出

阿部 正義

同窓生の皆さんこんにちは。三桜高校で令和三年度まで四年間過ごさせて頂いた数学科・弓道部の阿部です。在任中の

— 母校の近況 —

部長としての役割

二年 村上 凛

私たち書道部は三年生十一人、二年生十一人、一年生五人で活動しています。普段の練習では高校書道展での上位入賞を目標に様々な古典の練習に取り組んでいます。ですが、ここ数年の高校書道展では、他校との成績は差が広がっていきばかりのように感じていました。今年度、部長になった私は「部長」として結果を残すために、努力する姿勢を他の部員に示そうと心に決め、臨書に打ち込む日々が続きました。その結果、目標としていた「推薦」には届きませんでした。が、「特選」という成績

を残すことができませんでした。他の部員たちも「推薦」の二名を始め、ほとんどの部員が「金賞」以上の成績で、部員全員の努力が実った結果を残すことができたと思います。

三女高、そして三桜高校書道部の先輩方が残してきた成績はすばらしいものでした。私たちも先輩方のような成績を残そうと必死でした。もちろんうまくいかないこともありましたが、思い通りに書けず、「自分賞に入れるのか、部長として恥ずかしいくない結果を出すことができるのか。」とても不安でした。ですが、お互いに高め合える仲間、熱心に指導して下さる先生方のおかげで諦めず頑張れたと思います。精神面でも

成長でき、自分の成長が感じられる貴重な経験になりました。



三桜高校剣道部

二年 蜂屋 美優

私たち剣道部は、部員十九人で日々稽古に励んでいます。私たちの活動目標は「正しい剣道」をすることです。剣道は武道なので、体や心を鍛えるだけではなく、礼節を身につけたり、道徳心を高めて人格を磨いたりする人間形成の道です。ですから、

試合に勝つことだけが全てではありません。私たちは日々鍛錬を積むことで人間として成長し、その上で試合で勝つことを目指しています。

そんな中で私たちは、昨年度、今年度と二年連続で県新人大会で準優勝しました。昨年度はベスト8を目標とする中での準優勝、今年度はより高みを目指して優勝を目標とした準優勝だったので、とても悔しい思いをしました。今年度は県新人大会の上位



二校が全国選抜、ベスト4以上が

組んでいきたいと思っています。

東北大会への出場権を得られます。昨年度の東北大会はコロナの影響でなくなりましたので、私たちにあって初めての大会です。が、正々堂々と戦い抜きたいと思っています。

コロナ禍で剣道は、常時マスクをつけての活動だったり、試合中も相手との距離をとるための暫定的なルールが定められたりするなど、まだまだ制限があります。それでも、部活動が行えて、大会が開催されているこの状況をあたり前と思わずに感謝の気持ちをもって部活動に取り組んでいきたいと思っています。

令和4年度



卒業式

春のあたたかい陽ざしの中、令和五年三月一日、仙台三桜高校体育館で卒業式が行われました。

卒業生二百六十八人は桜の花のコージュを胸に入場。厳かななかにも生徒さんたちの新たなスタートへの期待が感じられた式でした。

今年の卒業生はコロナ禍で、入学式は放送で行い、その後二ヶ月の自宅学習、授業が始まったのは六月。学校行事も中止が多く、三年生になって初めて合唱コンクールや体育祭が開催されたが、修学旅行にも行けなかったと聞きました。

そんな中でも、さまざまな工夫をして学業や部活動に取り組み「自分たちにしかできない貴重な経験ができた」「これからの人生への土台ができたすばらしい高校生活だった」という話を聞き、心からホッと「卒業生の前途に幸あれ」と祈った卒業式でした。



人生における高校の存在

遠藤 匡 (高校73回)



人生の行き先を決める重要な地点である大学。そこに行くために過す高校。私は将来、文業に関する仕事に就きたいと考えています。高校の時も同じく考えており、私は大学自体に行くかをとて悩んだ時期がありました。そんな時に、相談にのってくれたのは、三桜の先生方や仲間達でした。

結果、私は大学進学を決めました。二年が経ち、大学に行って良かったと心の底から感じています。同時に大学進学を勧めてくれた先生方や、仲間にも感謝も

しています。勉強以外でも、文業に通じるのではと思います。二年生からは落語研究会に入りました。芸と向き合いつつ、恵まれた仲間と充実した日々を過ごしています。他にも、友達と大学生にしかできない経験を多くできています。

同じく三桜で過ごし、将来を見据えて決めた各々の進路に進んでいた高校の仲間達。卒業して二年が経った今、どんな生活をしているのだろうか。そして今後、どんな大人になっていくのか。同窓会で再会した時、様々な話がし合えることを楽しみにしています。

逃れられない

成田 流音 (高校66回)

残業中に、恩師から差し入れをいただきました。疲れた頭に甘いものはありがたいな、卒業後も元担任が気にかけてくれるなんて自分は幸せ者だな、なんて思いつながら手渡されたのは、甘いお菓子とこの同窓会誌の原稿依頼でした。大人っ



行って良かった!! 同窓会

豊巻 智子 (高校47回)

「なつかしいなあ!!」と想いながら、三女高の同窓会へ向かいました。新しくなった校舎を目にし、「すてきな校舎」と感慨深い想いにもなりました。

当時、私が通った校舎は古く歴史がありました。校門をくぐりぬけると、春にはチューリップや、見事な桜並木が私達生徒を出迎えてくれました。今でもその光景は心に残っており、自慢の三女高でもあります。

高校を卒業し大学へ進学。大学卒業後初めての勤務先は、長町小学校。高校を卒業してからも、長町にご縁があり、仕事が終わってから三女高の先生方に会いに行ったりも思い出です。

七月三日(日)の同窓会総会に



左 前田加代子さん 右 豊巻智子さん

出席し、一番心に残ったのは、やっぱり三女高校歌。心をひとつにし、懐かしい校歌をうたい一気に高校生の気持ちになりました。

現在、私は岩手県北上市在住です。娘が今、高校一年生の十六才。同窓会だよりがきっかけで、思いきって、同窓会総会に出席して本当に良かったです。先生方、卒業生に会えるチャンスです!!ぜひ皆さん同窓会でお会いしましょう!!

て汚いですね。

高校生の頃はとにかく部活動(地学部でした!)が楽しくて、毎日があっという間に過ぎた記憶がありますが、進路に悩んだ時期もありました。今となっては、悩み苦しみながらも、自力で決断した事は、自信にも繋がりましたし、貴重な人生経験だったと思います。

そんな私は、平成二十六年三月に仙台三桜高等学校を卒業後、学校事務職員として県内の高等学校を転々としていましたが、現在は出向し、県庁舎内で別の仕事をしています。冒頭でお話した元担任

も同じ庁舎内で勤務していることから、今回の原稿依頼に繋がったという訳です。

進学したらまた勉強するのか、なんて考えもあり、高卒での就職を決めました。が、働いていうのは毎日が勉強ですね。また、もう悩まなくて済むと思っていた進路に今は頭を悩ませています。

今年で二十八歳になる私ではありますが、日々勉強の連続です。これからは元担任が教えてくれたように、強かに、時には泥臭く生きていきたいものです。

紙面同窓会

平成25年10月20日、第1回同窓会文化祭が太白区文化センター展示ホールで、第2回目以降は東北電力グリーンプラザで開催されました。作品の展示の他、歌やダンスなどの発表もあり、同窓生だけではなく市民の方も多数来場されました。令和2年の第8回文化祭はコロナ禍のため中止、その後文化祭は行われていません。

また文化祭ができることを楽しみにして、文化祭に参加された方々の近況を紹介します。



今もギターが大好きです

神山 敬友 (高校71回)

以前、三桜高校の同窓会文化祭に参加させていただきました。三桜高校ではギター部で活動していましたが、現在はコロナ禍ながらも大学の軽音サークルで様々な工夫を行いながら、校内で演奏活動を続けております。仲間たちと共に演奏することが、いつも自分の励みになり、日々楽しく音楽に携わることができています。三桜高校でのギターの経験が、今でも演奏活動で活かすことができていると思います。また、高校の時とは違い、沢山の部員と様々な



バンドを組み演奏活動をする事ができていて、多くの部員と音楽を通して関わり合えることがとてもいい経験になっています。

三桜高校の、同窓会文化祭のことを思い出すと、優しい先輩方が沢山話しかけてくださり、分からないことも沢山教えていただきました。今でも、三女・三桜高校の素敵な校風が脈々と受け継がれていると感じます。来年度からは社会人になり、中々音楽に携わる機会が減ってしまいかもかもしれません。これからも様々な形で大好きなギター演奏を続けていきたいと思います。

繋ぐ三女、繋がる三桜!

及川久美子 (高校54回)

「三女(三桜)卒業ですか!」の一言で、初めて会った人とも仲良くなれてしまうくらい三女・三桜生は皆姉妹です。私は、子どもの頃からピアノの先生になりたいと夢を抱き、「三女高の音楽部に入りたい!」の一心で苦手を勉強を必死になったのは唯一だったかもしれない。念願の三女高、音楽部での三年間は、私の人生においてかけがえのない出会いと学び、宝ものとなりました。今年、四十歳を迎える今でも、三女で出会った仲間や友人と、色んな人生の節目も喜びも哀しみも語り合えること、心から幸せなことだと感じています。

三女高で、全国大会一位や多くの海外遠征、新体操とのコラボ等、全ての経験から人との出会いの豊かさや、文化芸術が心に寄り添い、世界を繋ぐかを感じ私自身が支えられてきました。三女高で培った経験と夢であった音楽の道へ進み、現在はピアノリストとしての演奏活動、高校の非常勤講師、音楽療法士としても活動し、みやぎの音楽教室を主宰しています。

また、虹のさかなプロダクションを立ち上げ、音楽を主体とした文化芸術を通して教育、福祉、企業と繋がるイベントやコンサートを企画し、人々の心に寄り添えるような音楽を目指し音楽家の皆さんと共に発信しています。

まだまだ親としても未熟な私が、娘に胸を張って伝えることができるのは、「出会いの大切さ」と「共に心を燃やせる仲間がいる豊かさ」かもしれない。

これから繋がる三女・三桜の未来へ日々メールと感謝!



いつまでも三女高生の78才のころ

桜中 文江 (高校15回)

皆様お元気ですか、お変わりありませんか。近年のコロナ禍で楽しみにしていた文化祭が開けず残念ですね。

私も忙しくしていた美容室のシステムを変え一日一組か二組の予約制にしました。また、ダンス指導も激減したので、この余った時間!閃いたのは、母の介護で五、六年中断していた趣味のお猪口作りの陶芸、ドールアート人形、プリザーブドフラワー。以前と同じぐらい家を空けている私に、主人はびっくりしています。朝早くのバスに乗る私を送ってくれたり協力がありがたいです。

母が亡くなる少し前に始めた十五坪のベランダ修理が中断していたので板を張りスタイロフォームやコンパネ、ビニールシートと一人でコツコツ、若い方達のお力もお借りし、大きな TENT を張り、ベランピング(土の上ではグランピング)を計画し、まもなく完成します。屋根も業者さんに頼んで張りました。コロナが終息の折にはすぐ活動出来るよう準備を進めています。

また、人形の展示会が東京や福島で何度かあり娘夫婦や回りの方が見て下さり、早く同窓会文化祭でも見て頂きたいと楽しみにしております。タブレットを持ち歩き、すてきなショットを撮ったりユーチューブでおいしい料理を見て、すぐまねをし、主人に迷惑がられています。

二月四日は昭和五十年に開設した美容室の四十八周年でした。ガンバります。娘に以前はへんなお母さん!と言われていましたが、先日ラインがきてお母さんを見習ってガンバりますって!これも三女の校風を忘れずにいたからかしら。おらかな自由、清く正しく美しくですネ。



コロナ禍の中で作り上げた娘達と。

ドールアート人形です。ねんどから仕上げます。東京と福島にて展示した人形達です。



支部連絡先

九州支部 石田れい子 (高校16回)	関西支部 林 敏子 (高校19回)	関東支部 山之井玲子 (高校30回)	北海道支部 島田満里子 (高校23回)
〒811-3116 福岡県古賀市庄一五一―一二	〒602-0058 京都市上京区上立売通小川西入下ル水落町九三	〒253-0085 茅ヶ崎市矢畑七八二―三二―一三三二	〒061-2285 札幌市南区藤野五条一―七―一二
☎09二(九四四) 一四二四	☎0七五(四三二) 六六七七	☎0四六七(六七) 六四四三	☎0一(五九二) 七九三七

令和5年度支部総会のお知らせ

支部	日時	問い合わせ先	TEL
北海道	未定	島田満里子	011-591-7937
関東	未定	山之井玲子	0467-67-6443
関西	中止	林 敏子	075-431-6677
九州	中止	大塚あおい	0942-36-1455

※北海道・関東支部総会については現在検討中です。詳細が決まりましたらお知らせいたします。

支部
だより

関東支部「秋の会」

同窓会に接して

関東支部長 山之井玲子 (高校30回)



私が三女高に初めて行った入試の日は、二八六号線の工事中でした。校門までの坂を登り右に曲ると校舎、左は運動場、合格したら通うのだと、バラとフェンスの間の通路を歩いたのを覚えています。

一年生は長い外階段を昇り教室まで通い、三年の時は売店の隣の教室だったので、素早く買い出しに行っていた事が懐かしい思い出です。

昭和五十三年に卒業してすぐに上京、仙台に戻って結婚と同時に家を出たせいか、同窓会に接する機会が無いまま、平成二十六年に先輩にお誘いを受け初めて出席するまで、全国に支部があり活発な会という事を知りませんでした。

懐かしい恩師や明るくお元氣な先輩方との交流が楽しく、気が付けば支部長を引き受ける事に。。。慣れない作業は役員の皆様の輪で何とか進めています。参加される方々共々、感謝の気持ちでいっぱいです。

三年前からの新型コロナ感染症の広がり、支部総会を開く事が難しくなっていますが、令和五年度は総会だけでも開催したいと思っておりますので、形式等決まり次第お知らせをする予定です。ご了承をいただける様、お願いいたします。

会員名簿を発行しました

令和4年9月、同窓会会員名簿2022を発行しました。口絵のカラーページは現校舎のほか、第三高等女学校の中島丁校舎、現在の門前の地でスタートした第三女子高等学校の旧校舎や同窓会活動などの写真や記録を載せています。同窓会の歩みを振り返りながら、ご自身の高校時代を思い出してみませんか。

個人情報取り扱いには十分に配慮しながら、同窓生全員に同窓会だよりをお届けし、母校と同窓生の橋わたしをしていけるよう、また同窓生同志の交流にも役立てていただきたいと思います。

名簿を発行してから「申し込みを忘れました」「これから申し込んでもいいですか」という問い合わせをいただいております。まだ、名簿がありますので、ぜひお申し込み下さい。

【問い合わせ先 創文印刷出版株式会社(高橋) 022-222-0181】



編集委員

事務局長 藤生 典子	副会長 鈴木 幸子	伊藤 知子
---------------	--------------	-------

発行所

創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区春日町 八十三四
☎011(232)0181

編集後記

同窓会だより第58号をお届けします。

コロナウイルス感染予防のため、同窓会活動は自粛中ですが、今後状況をみながら、活動が再開できることを期待しています。

今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

ホームページもご覧ください。三女・三桜同窓会で開けます。

同窓会年会費のお願い

年会費は同窓会活動の運営費のほか、「同窓会だより」の郵送料にも使わせていただきます。また一昨年は母校の自習室にエアコンを設置、昨年は図書、今年は展示パネルの寄贈など在校生への支援もさせていただきました。



同封の赤色の振込用紙で、一人2,000円のご協力をよろしくお願いいたします。総会当日もお預かりいたします。